



平成19年10月5日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
代表者名 代表取締役社長 笹原 政勝
(コード番号：6324)
問合せ先 常務執行役員 長井 啓
TEL 03-5471-7810

平成20年3月期連結業績予想並びに個別業績予想及び配当予想の修正について

平成19年5月18日付「平成19年3月期 決算短信」で発表しました、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)連結業績予想並びに個別業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 中間期連結業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	9,650	2,340	2,470	1,440
今回修正(B)	9,150	2,000	2,200	1,270
増減額 (B-A)	△500	△340	△270	△170
増減率	△5.2%	△14.5%	△10.9%	△11.8%

(2) 通期連結業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	19,500	4,680	4,930	2,900
今回修正(B)	18,000	3,740	4,060	2,420
増減額 (B-A)	△1,500	△940	△870	△480
増減率	△7.7%	△20.1%	△17.6%	△16.6%

(3) ご参考:前期の実績(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	(中間)当期純利益
中間期(18/4～18/9)	9,283	2,329	2,543	1,498
通期(18/4～19/3)	18,767	4,504	4,761	2,811

2. 個別業績予想の修正

(1) 中間期個別業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	8,400	2,050	2,230	1,370
今回修正(B)	7,799	1,720	1,900	1,140
増減額 (B-A)	△600	△330	△330	△230
増減率	△7.1%	△16.1%	△14.8%	△16.8%

(2) 通期個別業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	17,000	4,150	4,370	2,680
今回修正(B)	15,500	3,320	3,530	2,120
増減額 (B-A)	△1,500	△830	△840	△560
増減率	△8.8%	△20.0%	△19.2%	△20.9%

(3) ご参考:前期の実績(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	(中間)当期 純利益
中間期(18/4～18/9)	8,213	2,042	2,224	1,359
通期(18/4～19/3)	16,515	3,937	4,114	2,501

3. 修正理由

(1) 中間期の業績について

当社製品の主要用途である半導体製造装置向けにおいて、第2四半期以降の受注動向が減速したこととともに、フラットパネルディスプレイ製造装置向けにおいても、昨年後半からの需要減少に底打ちが確認されなかったことなどから、売上高が当初予想を下回る見通しです。

一方、産業用ロボット用途につきましては、需要が堅調に推移しておりますが、半導体製造装置用途、フラットパネルディスプレイ製造装置用途の減少を補うまでには至らない見込みです。

これらにより中間期の業績は、連結並びに個別ともに売上高が当初予想を下回る見通しです。また、利益面につきましても、主に売上高の減少により前回予想に対し減益となる見込みです。

(2) 通期の業績について

下期の需要動向につきましては、産業用ロボット用途は上期の水準を維持し、引き続き堅調に推移するものと見込んでおりますが、半導体製造装置用途、フラットパネルディスプレイ製造装置用途については、本格的な需要の回復を確認するまでには、今しばらくの時間を要するものと見込んでおります。

従いまして、中間期の業績予想を下方修正することに加え、現時点では下期の大幅な回復を見込むには至らないことなどから、通期の連結並びに単体の売上高、利益額につきましても、前回予想に対して減少となる見通しです。

4. 配当予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 1株当たり中間配当金及び期末配当金予想の修正

(金額は1株当たり 単位:円)

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回予想(A)	4,000	3,800	7,800
今回修正(B)	3,300	2,900	6,200
増減額 (B-A)	△700	△900	△1,600

(2) 修正理由

業績予想の修正に伴い、当社の配当政策(配当性向30%を目処)に従い修正するものであります。

(3) ご参考:前期の実績(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(金額は1株当たり 単位:円)

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
平成19年3月期	4,000	3,400	7,400

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は様々な要因により、この資料に記載されている予想とは異なる場合があります。

以上